



新学術領域研究「ハイブリッド触媒」 第1回公開シンポジウム プログラム

平成30年1月30日(火)

名古屋大学 ES 総合館 ES ホール

11:00~11:10 領域代表挨拶

研究発表(発表15分、質疑5分)

【A02 班】

11:10~11:30 多重選択性の触媒的制御：立体分岐型不斉合成を目指して
大井 貴史(名古屋大学・WPI-ITbM)

11:30~11:50 ハイブリッド触媒系によるアルデヒドの極性転換型変換反応
大宮 寛久(金沢大学)

11:50~12:10 Brønsted 塩基触媒系を活用する
効率的炭素-炭素結合生成反応の開発
山下 恭弘(東京大学)

12:10~12:30 金属錯体触媒と有機分子触媒の立体化学制御を利用した
高選択的分子変換反応の開発
寺田 眞浩(東北大学)

12:30~13:40 昼食休憩・班会議

【A03 班】

13:40~14:00 高性能ハイブリッド触媒系を活用する高選択的ドミノ反応の開発
丸岡 啓二(京都大学)

14 : 00～14 : 20 精密有機合成と重合を融合したドミノ触媒系の開発
西浦 正芳（理化学研究所）研究代表者：侯 召民

14 : 20～14 : 40 脱一酸化炭素を伴うラジカル反応を基盤とした
高酸化度天然物の全合成戦略
長友 優典（東京大学）研究代表者：井上 将行

14 : 40～15 : 00 ハイブリッド触媒による高分子配列科学の新展開
大内 誠（京都大学）

15 : 00～15 : 30 コーヒーブレイク

【A01 班】

15 : 30～15 : 50 ハイブリッド触媒系構築のための新規な水素原子移動触媒
金井 求（東京大学）

15 : 50～16 : 10 担持合金ナノ粒子を触媒とする分子変換
宍戸 哲也（首都大学東京）

16 : 10～16 : 30 光化学的刺激／電気化学的刺激による金属錯体触媒の
オンデマンド活性化
正岡 重行（分子科学研究所）

16 : 30～16 : 50 自動反応経路探索を用いる不斉アルドール反応の機構解明と
機械学習を用いた効率的解析
畑中 美穂（奈良先端科学技術大学院大学）

16 : 50～17 : 00 終わりに

17 : 00～18 : 30 情報交換会
トランスフォーマティブ生命分子研究所 (ITbM)
1 階オープンスペース